

## 微生物資材を利用したトウガラシ斑点病抑制技術

農林センター 環境部

## 要旨

野菜類うどんこ病に登録のあるバチルス・ズブチルス剤（バチルス剤）を用いたトウガラシ斑点病抑制について検討した結果、稲ワラ資材を併用により、トウガラシ斑点病の発病を抑制でき、散布回数を1/3程度に軽減できる。

## 成果の概要

トウガラシ斑点病の発病前から稲ワラマルチを敷設し、バチルス剤を20日毎に散布することで、抑制効果を認め、バチルス剤単用の7日毎散布に比しても同等の抑制効果を認めた（表1）。

稲ワラマルチを敷設し、2日毎に上面灌水を繰り返すことで、降雨時の跳ね上がり効果を検証した。水滴とともに跳ね上がるバチルス菌により、下葉からのトウガラシ斑点病発病の実用的な抑制効果を認めた（表2）。

表1 トウガラシ斑点病に対する稲ワラ資材併用の防除効果(2008)

区	反復	調査葉数	発病葉率(%)	発病度	防除価
稲ワラ資材併用 <sup>1)</sup>	平均 <sup>3)</sup>	130	<b>22.3</b>	<b>7.8</b>	<b>57.8</b>
バチルス剤 <sup>2)</sup>	平均	130	<b>13.1</b>	<b>7.4</b>	<b>59.9</b>
無処理	平均	130	<b>50.0</b>	<b>18.4</b>	

1)稲ワラマルチを敷設し、バチルス剤を20日毎に散布。

2)バチルス剤単用、7日毎の散布。

3)3反復の平均。

表2 トウガラシ斑点病に対する稲ワラ資材併用の防除効果(2009)

区	反復	調査葉数	発病葉率(%)	発病度	防除価
稲ワラ資材併用 <sup>1)</sup>	平均 <sup>2)</sup>	<b>45</b>	<b>20.0</b>	<b>5.9</b>	<b>66.8</b>
無処理	平均	<b>45</b>	<b>48.9</b>	<b>17.8</b>	

1)稲ワラマルチを敷設し、バチルス剤を20日毎に散布。2日毎に上面かん水。

2)3反復の平均。

(問合せ先: Tel.0771-22-6494)